

| 達成基準  |  | 適合レベル | タイプ | テスト方法  |
|-------|--|-------|-----|--|
| 番号    | 達成方法   |       |     | (miCheckerの結果とテスト方法を参考に検証を実施します。検証箇所は多くの場合複数存在します。)  |
| 1.1.1 | 非テキストコンテンツ: 利用者に提示される全ての非テキストコンテンツには、同等の目的を果たす代替テキストが提供されている。ただし、次の場合は除く a) コントロール及び入力、b) 時間依存メディア、c) テスト、d) 感覚的、e) CAPTCHA、f) 装飾、整形及び非表示                                  | A     |     | 例外事項の補足:<br>a) 目的を説明する識別名がある。<br>b) 非テキストコンテンツを識別できる説明がある。<br>c) 代替テキストを与えると試験にならない場合は、それを識別できる説明がある。<br>d) フルートのソロ演奏や視覚芸術などには、それを識別できる説明がある。<br>e) 他の感覚による知覚に対して出力する代替形式を提供している。<br>f) 装飾等の為の非テキストコンテンツは支援技術が無視できる。 |
| 1.2.1 | 音声だけ及び映像だけ（収録済み）：収録済みの音声しか含まないメディア及び収録済みの映像しか含まないメディアは、次の事項を満たしている。ただし、その音声又は映像がメディアによるテキストの代替であって、メディアによる代替であることが明確にラベル付けされている場合は除く a) 収録済みの音声しか含まない場合、b) 収録済みの映像しか含まない場合 | A     |     | 例外事項の補足:<br>テキストで提供されている部分があり、それを代替するため(文字情報よりも音声や映像の方が理解しやすい人のために)用意された、音声あるいは映像しか含まないメディア、かつ、それが代替メディアであることが明確にラベル付けされている場合は除きます。  |
| 1.2.2 | キャプション（収録済み）：同期したメディアに含まれている全ての収録済みの音声コンテンツに対して、キャプションが提供されている。ただし、その同期したメディアがメディアによるテキストの代替であって、メディアによる代替であることが明確にラベル付けされている場合は除く   | A     |     | 例外事項の補足:<br>テキストで提供されている部分があり、それを代替するために(文字情報よりも音声や映像の方が理解しやすい人のために)用意された、同期したメディアである場合、かつ、それが代替メディアであることが明確にラベル付けされている場合は除きます。<br>追加の補足:<br>どの達成方法の組み合わせで達成させるかを予め把握し、それらの達成方法が適合であるかどうかの判定をすると良いでしょう。              |
| 1.2.3 | 音声解説又はメディアに対する代替コンテンツ（収録済み）：同期したメディアに含まれている収録済みの映像コンテンツに対して、時間依存メディアに対する代替又は音声解説が提供されている。ただし、その同期したメディアがメディアによるテキストの代替コンテンツであって、メディアによる代替であることが明確にラベル付けされている場合は除く          | A     |     | 例外事項の補足:<br>テキストで提供されている部分があり、それを代替するために(文字情報よりも音声や映像の方が理解しやすい人のために)用意された、同期したメディアである場合、かつ、それが代替メディアであることが明確にラベル付けされている場合は除きます。<br>追加の補足:<br>どの達成方法の組み合わせで達成させるかを予め把握し、それらの達成方法が適合であるかどうかの判定をすると良いでしょう。              |
| 1.2.4 | キャプション（ライブ）：同期したメディアに含まれている全てのライブの音声コンテンツに対して、キャプションが提供されている   | AA    |     | 追加の補足:<br>どの達成方法の組み合わせで達成させるかを予め把握し、それらの達成方法が適合であるかどうかの判定をすると良いでしょう。   |
| 1.2.5 | 音声解説（収録済み）：同期したメディアに含まれている全ての収録済みの映像コンテンツに対して、音声解説が提供されている   | AA    |     | 追加の補足:<br>どの達成方法の組み合わせで達成させるかを予め把握し、それらの達成方法が適合であるかどうかの判定をすると良いでしょう。   |
| 1.3.1 | 情報及び関係性：何らかの形で提示されている情報、構造、及び関係性は、プログラムによる解釈が可能である、又はテキストで提供されている  | A     |     |  |
| 1.3.2 | 意味のある順序：コンテンツが提示されている順序が意味に影響を及ぼす場合には、正しく読む順序はプログラムによる解釈が可能である   | A     |     |  |
| 1.3.3 | 感覚的な特徴：コンテンツを理解し操作するための説明は、形、大きさ、視覚的な位置、方向、又は音のような、構成要素がもつ感覚的な特徴だけに依存していない   | A     |     |  |
| 1.4.1 | 色の使用：色が、情報を伝える、動作を示す、反応を促す、又は視覚的な要素を判別するための唯一の視覚的手段になっていない   | A     |     |  |
| 1.4.2 | 音声の制御：ウェブページ上にある音声自動的に再生され、3秒より長く続く場合、その音声を一時停止若しくは停止するメカニズム、又はシステム全体の音量レベルに影響を与えずに音量レベルを調整できるメカニズムが利用できる  | A     |     |  |

|       |   |    |  |
|-------|---|----|--|
| 1.4.3 | コントラスト（最低限レベル）：テキスト及び文字画像の視覚的提示には、少なくとも4.5:1のコントラスト比がある。ただし、次の場合は除く： a)大きな文字 b)附随的 c)ロゴタイプ  | AA | 例外事項の補足：<br>a) 大きな文字の場合のコントラスト比は少なくとも3:1以上。<br>b) 付随的とは、テキストであっても、装飾を目的にしたもの、写真の一部でその文字自身は重要でないもの、アクティブではないユーザーインターフェース・コンポーネントの一部(意図的にグレーにすることがある)をさす。<br>c) 会社のロゴなど。<br>追加の補足：<br>どの達成方法の組み合わせで達成させるかを予め把握し、それらの達成方法が適合であるかどうかの判定をすると良いでしょう。 |
| 1.4.4 | テキストのサイズ変更：キャプション及び文字画像を除き、テキストは、コンテンツ又は機能を損なうことなく、支援技術なしで200%までサイズ変更できる  | AA | 追加の補足：<br>どの達成方法の組み合わせで達成させるかを予め把握し、それらの達成方法が適合であるかどうかの判定をすると良いでしょう。<br>サポートするブラウザによって、実装する達成方法が異なる可能性があることにも注意してください。(G178の達成方法によりコンテンツとして拡大機能を提供したとしても、それが働かないブラウザがサポート対象として含まれるならば、依然、G178以外のここにあげられた達成方法で等しく拡大することが出来るようにしなくてはならない。)       |
| 1.4.5 | 文字画像：使用している技術で意図した視覚的提示が可能である場合、文字画像ではなくテキストが情報伝達に用いられている。ただし、次に挙げる場合を除く： a)カスタマイズ可能、 b)必要不可欠   | AA | 例外事項の補足：<br>a) 画像であってもユーザの要求でカスタマイズ可能な場合。<br>b) 画像化することが必要不可欠な場合。(ロゴやブランド名など)  |
| 2.1.1 | キーボード：コンテンツの全ての機能は、個々のキーストロークに特定のタイミングを要することなく、キーボードインターフェースを通じて操作可能である。ただし、その根本的な機能が利用者の動作による始点から終点まで続く一連の軌跡に依存して実現されている場合は除く  | A  | 例外事項の補足：<br>手書き認識がこの例外に該当するとしても、キーボードによる入力を省いて良いことにはならないことに注意する。   |
| 2.1.2 | キーボードトラップなし：キーボードインターフェースを用いてキーボードフォーカスをそのウェブページのあるコンポーネントに移動できる場合、キーボードインターフェースだけを用いてそのコンポーネントからフォーカスを外すことが可能である。さらに、修飾キーを伴わない矢印キー、Tabキー、又はフォーカスを外すその他の標準的な方法でフォーカスを外せない場合は、フォーカスを外す方法が利用者に通知される | A  |  |
| 2.2.1 | タイミング調整可能：コンテンツに制限時間を設定する場合は、次に示す事項のうち、少なくとも一つを満たしている： a)解除、 b)調整、 c)延長、 d)リアルタイムの例外、 e)必要不可欠な例外、 f)20時間の例外   | A  | 例外事項の補足：<br>d) オークションやTV番組と連動したプレゼントの申し込みのようなリアルタイムのイベントにおいて制限時間が必須の要素であるもの。<br>e) クイズなど制限時間が必要不可欠なもの。<br>f) 制限時間が20時間より長いもの。  |
| 2.2.2 | 一時停止、停止及び非表示：動きのある、点滅している、スクロールする、又は自動更新する情報は、次の全ての事項を満たしている： a)動き、点滅又はスクロール、 b)自動更新  | A  |  |
| 2.3.1 | 3回のせん（閃）光、又はしきい（閾）値以下：ウェブページには、どの1秒間においても3回を超えるせん（閃）光を放つものがない、又はせん（閃）光が一般せん（閃）光しきい（閾）値及び赤色せん（閃）光しきい（閾）値を下回っている  | A  |  |
| 2.4.1 | ブロックスキップ：複数のウェブページ上で繰り返されているコンテンツのブロックをスキップするメカニズムが利用できる  | A  | 追加の補足：<br>最初にmiCheckerの音声ユーザビリティ視覚化モードで視覚化し、画面に暗い部分(到達に時間のかかる部分)が無いことを確認しても良いでしょう。もし、暗くなる部分がある場合は、適合とは言えない可能性があります。  |
| 2.4.2 | ページタイトル：ウェブページには、主題又は目的を説明したタイトルがある   | A  |  |
| 2.4.3 | フォーカス順序：ウェブページが順を追ってナビゲートできて、そのナビゲーション順が意味又は操作に影響を及ぼす場合、フォーカス可能なコンポーネントは、意味及び操作性を損なわない順序でフォーカスを受け取る   | A  |  |
| 2.4.4 | リンクの目的（コンテキスト内）：それぞれのリンクの目的が、リンクのテキスト単独で判断できるか、又はリンクのテキストとプログラムによる解釈が可能なリンクのコンテキストとから判断できる。ただし、リンクの目的がほとんどの利用者にとって曖昧な場合は除く  | A  | 例外事項の補足：<br>誰にとっても実際にクリックしてみないと分からず、誰にとってもそれが問題にならないようなケースを意味します。  |

|       |  |    |  |  |
|-------|--|----|--|--|
| 2.4.5 | 複数の手段： ウェブページ式の中で、あるウェブページを見つける複数の手段が利用できる。ただし、ウェブページが一連のプロセスの中の1ステップ又は結果である場合は除く  | AA |  |  |
| 2.4.6 | 見出し及びラベル： 見出し及びラベルは、主題又は目的を説明している  | AA |  |  |
| 2.4.7 | フォーカスの可視化： キーボード操作が可能なあらゆるユーザインタフェースには、フォーカスインジケータが見える操作モードがある   | AA |  |  |
| 3.1.1 | ページの言語： それぞれのウェブページのデフォルトの自然言語がどの言語であるか、プログラムによる解釈が可能である   | A  |  |  |
| 3.1.2 | 一部分の言語： コンテンツの一節、又は語句それぞれの自然言語がどの言語であるか、プログラムによる解釈が可能である。ただし、固有名詞、技術用語、言語が不明な語句、及びすぐ前後にあるテキストの言語の一部になっている単語又は語句は除く                                   | AA |  |  |
| 3.2.1 | フォーカス時： いずれのコンポーネントも、フォーカスを受け取ったときにコンテキストの変化を引き起こさない   | A  |  |  |
| 3.2.2 | 入力時： ユーザインタフェース コンポーネントの設定を変更することが、コンテキストの変化を自動的に引き起こさない。ただし、利用者が使用する前にその挙動を知らせてある場合を除く  | A  |  | 例外事項の補足：<br>例えば、電話番号を市外局番、局番、番号の三つに分けて入力するとき、市外局番を入れると、自動的に局番の入力欄に移動することが、事前に伝えられていれば例外として処理してかまいません。  |
| 3.2.3 | 一貫したナビゲーション： ウェブページ式の中にある複数のウェブページ上で繰り返されているナビゲーションのメカニズムは、繰り返されるたびに相対的に同じ順序で出現する。ただし、利用者が変更した場合は除く  | AA |  | 追加の補足：<br>達成方法は、ウェブサイトの全体的なデザインを決めるときに既に検討され、デザインガイドなどにまとめられていると良いでしょう。試験する人は、それを頼りにその方針が適切に実現されているかを確認すると効率よく試験できます。                            |
| 3.2.4 | 一貫した識別性： ウェブページ式の中で同じ機能をもつコンポーネントは、一貫して識別できる   | AA |  | 追加の補足：<br>達成方法は、ウェブサイトの全体的なデザインを決めるときに既に検討され、デザインガイドなどにまとめられていると良いでしょう。試験する人は、それを頼りにその方針が適切に実現されているかを確認すると効率よく試験できます。                            |
| 3.3.1 | エラーの特定： 入力エラーが自動的に検出された場合は、エラーとなっている箇所が特定され、そのエラーが利用者にテキストで説明される   | A  |  |  |
| 3.3.2 | ラベル又は説明： コンテンツが利用者の入力を要求する場合は、ラベル又は説明文が提供されている   | A  |  |  |
| 3.3.3 | エラー修正の提案： 入力エラーが自動的に検出され、修正方法を提案できる場合、その提案が利用者に提示される。ただし、セキュリティ又はコンテンツの目的を損なう場合は除く   | AA |  | 追加の補足：<br>達成方法は、ウェブサイトの全体的なデザインを決めるときに既に検討され、デザインガイドなどにまとめられていると良いでしょう。試験する人は、それを頼りにその方針が適切に実現されているかを確認すると効率よく試験できます。                            |
| 3.3.4 | エラー回避（法的、金融及びデータ）： 利用者にとって法律行為若しくは金融取引が生じる、利用者が制御可能なデータストレージシステム上のデータを変更若しくは削除する、又は利用者が試験の解答を送信するウェブページでは、次に示す事項のうち、少なくとも一つを満たしている： a)取消、b)チェック、c)確認 | AA |  | 追加の補足：<br>法的な義務や金銭的な取引が行われる場合、ここで評価する達成方法は、ウェブサイトの全体的なデザインを決めるときに既に検討され、デザインガイドなどにまとめられていると良いでしょう。試験する人は、それを頼りにその方針が適切に実現されているかを確認すると効率よく試験できます。 |
| 4.1.1 | 構文解析： マークアップ言語を用いて実装されているコンテンツにおいては、要素には完全な開始タグ及び終了タグがあり、要素は仕様に従って入れ子になっていて、要素には重複した属性がなく、どのIDも一意的である。ただし、仕様で認められているものを除く                            | A  |  |  |

|       |   |   |  |  |
|-------|---|---|--|--|
| 4.1.2 | 名前 (name)、役割 (role) 及び値 (value) : 全てのユーザインタフェース コンポーネント (フォームを構成する要素、リンク、スクリプトが生成するコンポーネントなど) では、名前 (name) 及び役割 (role) は、プログラムによる解釈が可能である。また、状態、プロパティ及び利用者が設定可能な値はプログラムによる設定が可能である。そして、支援技術を含むユーザエージェントが、これらの項目に対する変更通知を利用できる | A |  |  |
|-------|---|---|--|--|